

## 我ら50期 ここにあり

締めくくりの12月です。



1日は一生の縮図です。「考えていること」と「行っていること」を一致させていけるような1日にしていきましょう。その1日1日の積み重ねが結果や成果につながります。やるべきことややらなければならないことを横にずらしても、そのことはなくなりません。自分が、自分の頭と身体と経験を使って、自分を創っていくのです。自分から逃げられません。



1か月にかかるお金はどれくらい？

生活に必要なお金を「生活費」といいます。食費や衣服代、住居費といった衣食住にかかるお金、病気のときにかかる医療費、旅行や映画などの娯楽費など、生活費にはさまざまなもののが含まれています。平均的な家庭の1カ月の生活費の内訳は、食費 66,950 円、交通・通信費 45,055 円、教養娯楽 27,160 円、住居 20,855 円、高熱・水道 18,471 円、教育 13,573 円、被服及び履物 11,286 円、保健医療 10,267 円、家具・家事用品 9,366 円、その他 52,721 円で、合計 1 カ月におおよそ 276,000 円かかっていることがわかります。もちろんこれは平均であり、「これは必要ない」という人も、「もっとかかっている」という人もいると思いますが、それにしても、生きるのにはお金が必要だとわかりますね。生活費の使われ方は、収入や家庭の状況、住んでいる場所やその人の価値観などによって異なります。たとえば、子どもが多い家庭や私立の学校に子どもを通わせている家庭では教育費が増えます。また、都市部に住むことで通勤時間を減らしたいと考えている人は住居費が高く、家賃が 10 万円近くなる人も珍しくありません。他にも、趣味の旅行にお金を回すため、衣服にかけるお金を抑えることを選択する人もいるでしょう。自分がなんの必要に迫られているか、どのようなことに価値を置いているか、そういう違いが各家庭でのお金の使い方に表れます。